本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

支社	〒	所在地	☎	電話番号
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪	06(652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪	06(301)1251
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺	0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39番6号	☎高槻	0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮	0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内	0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方	0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸	078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都	075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良	0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山	0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路	0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川	0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡	07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津	0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎彦根	0749(22)3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜	0749(62)7171)
本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

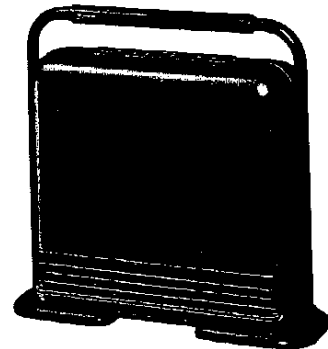
おねがい

ガスくさいときは、お部屋のガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社にご連絡ください。

S9006-0

ガスファンヒーター

43-640・641・642・643型

型式 GS-2SP1G

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーターをお買い上げいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

●換気にご注意

この器具は、強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。

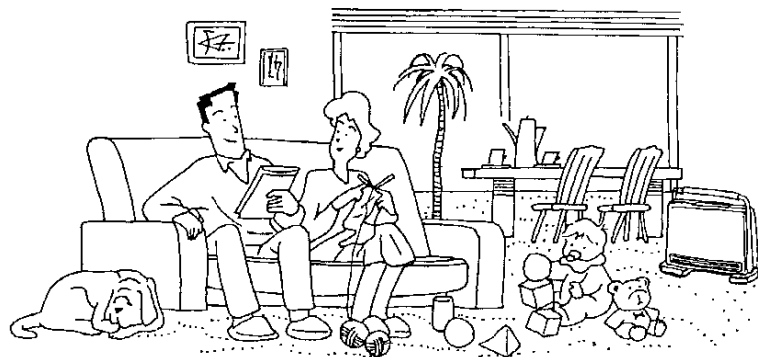
特　長

快適な暖房生活（ライフ）をお楽しみください。

●室温変化に応じて、燃焼量と風量を自動的にコントロールします。

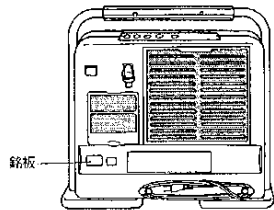
●セーブ運転機能で維持費の低減ができます。

●お子様が勝手に操作しても作動しない「チャイルドロック」機能付きです。

●自動的に消火するおやすみタイマー付きです。

特に注意していただきたいこと

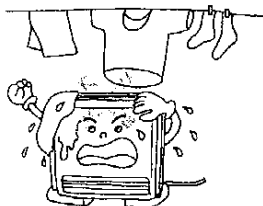
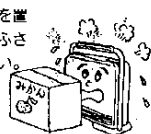
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

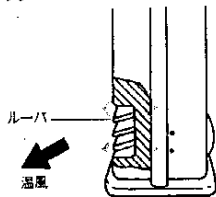
●使用ガス・使用電源についてのご注意

- 器具本体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)・電源(電圧・周波数)以外のガス・電源では使用しないでください。

- ガスの種類には、都市ガスと LP ガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
  この器具は交流 100V ・ 50/60Hz 用です。
  お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。
- 転居されたときにも、ガスの種類、電源周波数の一致を必ず確かめてください。

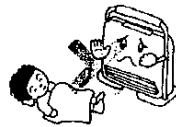
●使用上のご注意

■用途について

- 暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しないでください。
- 衣類などを器具の上に置いたり、掛けたりしないでください。(異常過熱・火災防止のため)

- 温風吹出し口の前に物を置いたり、器具の後面をふさいだりしないでください。

■温風吹出し口のご注意

- 温風吹出し口のルーバの角度をむやみに変えないでください。
  床(カーペット等)の変色、器具の故障の原因となります。

■やけどのご注意

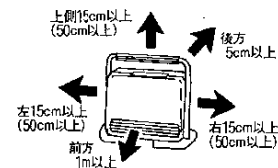
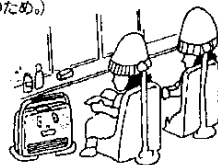
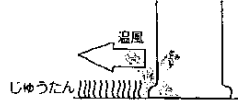
- ご使用中および使用直後は、温風吹出し口付近・エアーフィルター(大)部には手を触れたりしないでください。
  (特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。)

- 温風をじかに長時間体にあてないようにしてください。
  (特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いのときは、周囲の方が注意してください。)

- 小さなお子様が勝手に運転操作をしないようにご注意ください。
- 器具の上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。

■水ぬれのご注意

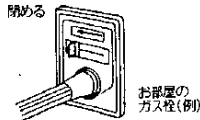
- 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。

■使用場所について

- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。
  (上・右・左のいずれか一方は50cm以上)

- スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。
  (器具の故障や、腐食性ガスの発生防止のため。)

- 毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いて水平にしてください。(じゅうたんの変色防止のため。)

- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。炎が風で消えることがあります。

●ガス事故防止のために

■ガス漏れ防止

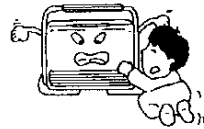
●ガスの接続は、必ず大阪ガス指定のガスコードをお使いください。
詳しくはＰ８参照。
●使用後は必ず運転スイッチを切り消火したことを確かめてください。
●お出かけや長時間使用しないときは、ガス栓も必ず閉めてください。

■ガス漏れに気づいたとき

ガス栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

■万一ガスが漏れたときは

絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの入・切などしないでください。(爆発事故防止のため。)

■火災予防

●紙・布・異物などを温風吹出し口やエアーフィルター(大・小)の中に入れたり、ふさいだりしないでください。

●ヘアースプレーなど引火物を器具の近くで使用しないでください。
●火をつけたまま、持ち運ばないでください。

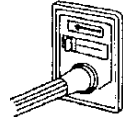
■換気のご注意

●使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気を行ってください。

●異常時の処置

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、あわてず次の処置をし、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

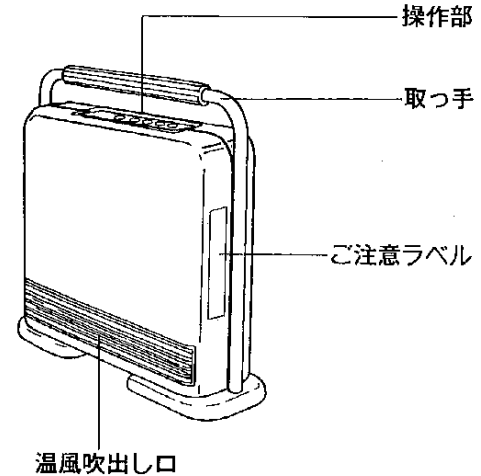
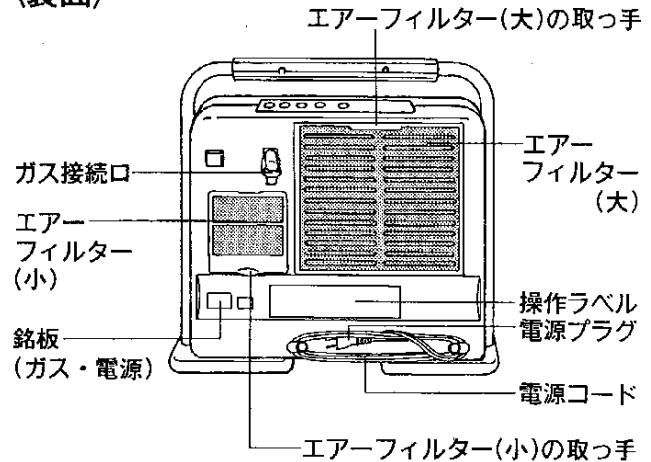
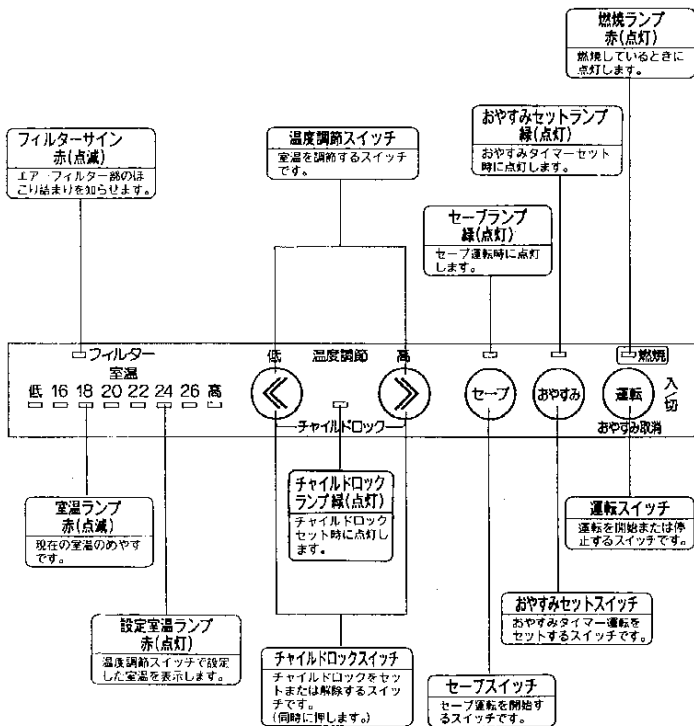
1 運転スイッチを切り

2 ガス栓を閉め

3 もよりの大阪ガス支社へ！

●日常の点検・手入れ

●日常の点検・手入れは必ず行ってください。(P17〜18参照)
●故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

各部の名称(本体部)

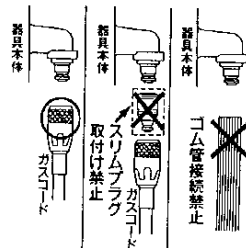
〈正面〉

〈裏面〉

●操作部

器具の設置

●使用場所についてのご注意

ご使用になる場合は、4ページの 使用場所について のご注意をお読みください。

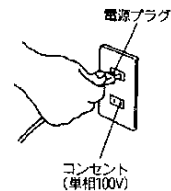
●ガスの接続

- ガスの接続は、必ず大阪ガス指定のタイマー専用ガスコードを使用してください。
- 器具にはスリムプラグが組込まれています。一般のガスコードについているスリムプラグは、絶対取付けないでください。
- 一般のガス用ゴム管やビニール管は使用できません。

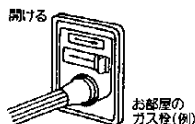
ご注意

■ガスコードは

- 継ぎたし等はしないでください。
- 器具に触れたり、器具の下を通したりしないでください。
- 他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
- 器具への取付けは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社に依頼してください。

●電源の接続

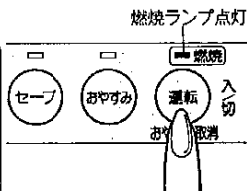
電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

使用方法 運転のしかた

●点火前の準備と確認

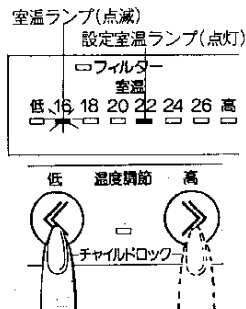
● ガスと電気が確実に接続されていることを確認したのち、お部屋のガス栓を全開にします。

点　火

1 運転スイッチを押します

● バーナーに点火し、温風吹出し口から温風が出ます。
● 燃焼ランプが点滅する場合、再度点火操作を行ってください。

〈ご注意〉
● しばらく使わなかったときは、ガス配管内に空気が入って点火しにくいことがあります。このときは、2～3回点火操作をくり返してください。
● 燃焼後、約30秒程度は、室温にかかわらず強燃焼します。
● 点火直後、バーナーの膨脹音(チリチリ)がする場合がありますが、器具の異常ではありませんのでそのままご使用ください。

2 温度調節をします

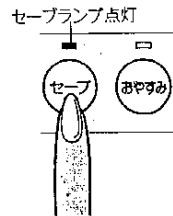
お好みの室温に設定します。
● 設定された室温はランプが点灯して表示します。

● 初めてお使いになるときは自動的に「22」に設定してあります。
● 室温は、室温ランプが点滅して、お知らせします。
● 設定温度と室温が一致した場合、ランプは連続点灯します。
● お好みの室温に設定すると温度調節機能により室温を自動的にコントロールします。
● 「弱燃焼」になってもお部屋の温度が上がっていく場合がありますので、このときは、いったん運転を停止してください。

セーブ運転

暖房を省エネで運転するときにこのスイッチを押します。

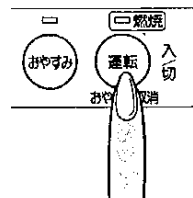
3 セーブスイッチを押します

セーブランプが点灯し、セーブ運転を開始します。

〈ご注意〉
● 設定室温が「高」の場合、セーブ運転は働きません。
● セーブ運転解除のしかた
セーブスイッチをもう一度押してください。
セーブランプが消え、解除されます。

消　火

4 運転スイッチを押します

消火し、燃焼ランプが消えます。

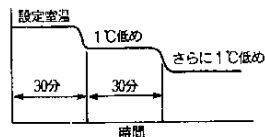
● 運転スイッチを「切」にしても、しばらくの間、温風吹出し口から風が出続けます。
これは器具内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。この間は電源プラグを抜かないでください。

■温度調節について

●一度セットした設定室温は、マイコンが記憶しています。
ただし、電源プラグをコンセントから抜いたり(約1分以上)、停電(約1分以上)した時は設定室温は解除され、再通電後は自動的に「22」となります。
●室温ランプは器具の感温部付近の温度を表示します。
器具の設置条件(すきま風・直射日光など)によって室温ランプと室温が多少ずれることがあります。

ご注意

●消火後の再点火時に室温ランプが一時的に高く表示されたのち、もとに戻ることがありますが、故障ではありません。
●お部屋の構造、設置場所、外気温などによってはお好みの温度にならない場合があります。また「弱燃焼」になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このときは、いったん運転を停止してください。

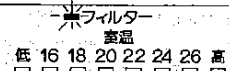
■セーブ運転について

●セーブ運転とは
自動的に少しづつ室温を下げる運転で省エネに役立ちます。設定室温までお部屋があたたまった後、30分たつと設定室温を自動的に1℃下げ、さらに30分たつと設定室温を1℃下げます。この時、設定室温ランプは変化しません。

ご注意

●温度調節と同様に、お部屋の構造、外気温度等によっては、実際に温度が下がらない場合があります。

■フィルターサインについて

運転中にフィルターサインが点滅することがあります。
● エアーフィルター(大・小) 、 温風吹出し口 にほこりやごみがたまったり、障害物でふさがれたりしているためです。

フィルターサイン点滅
フィルター
室温
低 16 18 20 22 24 26 高

ご注意

●フィルターサインはほこりの掃除を促すためのランプです。安全装置ではありませんので点滅しても器具は運転を停止しません。しかし、この状態のまま長く使用しますと、異常過熱の原因となって運転が自動的に停止することがあります。
●運転したままほこりの掃除をしても、フィルターサインは消灯しません。
いったん運転を停止してください。

■チャイルドロックについて

●チャイルドロックとは、小さなお子様が勝手に運転操作をしても運転しないようにロックすることをいいます。

操作のしかた

●チャイルドロックをかける時は、温度調節スイッチの「低」「高」を同時に約1秒間押し続けてください。
●チャイルドロックランプが点灯し、ロックしたことをお知らせします。
●チャイルドロックを解除する時は、温度調節スイッチの「低」「高」を同時に押してください。

ご注意

●運転中チャイルドロックをかけると運転は継続しますが、温度調節、セーブ、おやすみ、の各スイッチを押しても作動しません。
●チャイルドロック運転中の消火は10ページの 消火 と同様、運転スイッチを押して行ってください。一度運転スイッチを「切」にし、消火したのち、再度「入」にしても点火作動しません。

運転のしかた

■点火・消火について

●燃焼中、運転スイッチを「入」にしたままで、お部屋のガス栓の操作による消火はしないでください。

ご注意

●消火後の再点火
消火後再び運転される場合は、すぐには運転操作をしても点火しない場合があります。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。再点火時に「ボッ」と音がすることがありますが、異常ではありません。

●点火したあとやルームサーモ(室温調節器)が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨脹・収縮する際の音で異常ではありません。

■停電時の処置について

●停電になったときは、ガス栓を閉じておいてください。
再使用されるときは、燃焼ランプ、室温ランプが点滅（P15～16参照）している場合(約1分以内の再通電時)がありますのでその時は一度運転スイッチを押してランプが消えたことを確認してから9ページの点火に従って操作してください。

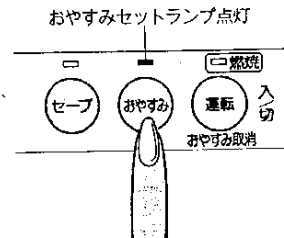
ご注意

●使用中停電になったときは、対流用ファンが止まるため、器具上部およびエアーフィルター(大)部が過熱しますので、器具上部やエアーフィルター(大)部にふれないでください。

使用方法 おやすみタイマー運転のしかた

1 おやすみセットスイッチを押します

●燃焼中おやすみセットスイッチを押すとおやすみセットランプが点灯し、おやすみセットスイッチを押した時点から約1時間後に自動消火します。

●運転停止中、おやすみセットスイッチを押した場合は、自動的に点火作動し燃焼を開始、おやすみタイマー運転に入り、約1時間後に自動消火します。

■おやすみタイマー運転を解除する時は

運転スイッチを押します。

〈ご注意〉

●おやすみタイマー運転中おやすみスイッチを押すと、その時点からさらに約1時間燃焼します。

使用時のご注意

このファンヒーターには、　モニターランプによるお知らせ機能がついています。

■安全装置が作動したときの処置方法

〈ご注意〉　安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、大阪ガス支社にご連絡ください。

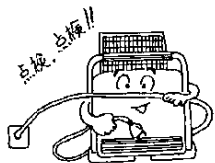
安全装置	働き	安全装置作動時の表示		原因	処置方法
		燃焼ランプ	室温ランプ		
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に燃焼を停止します。	点滅 燃焼	点滅 低 16 18 20 22 24 26 高	ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアーフィルター(大、小)がつまっても同様です。	十分部屋の換気を行いエアーフィルター(大、小)の掃除を行ってください。
立消え安全装置	バーナーの炎が風などで消えたときや、ガスの供給が止まったときに働きます。			ガス栓が開きたりなかったときや、強い風が吹いていたときなどに作動します。	点検後、再点火してください。
	運転スイッチを「入」にしたあと、しばらくしても点火しない場合、生ガスの放出を防止します。		点滅 低 16 18 20 22 24 26 高	ガス栓が開きたりなかった。 ガスの種類が違う。 ガスコード内に空気が入っていた。	
転倒時安全装置	器具が転倒したり、激しい衝撃が加わった時などに作動します。		点滅 低 16 18 20 22 24 26 高	燃焼したまま、器具を持ち運んだり、器具に衝撃を加えた場合、また転倒した場合に作動します。	いったん運転スイッチを「切」にし再点火してください。
過熱防止装置 (バイメタルスイッチ)	エアーフィルター(大・小)が目づまりしたり、温風吹出し口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火します。		点滅 低 16 18 20 22 24 26 高	エアーフィルター(大、小)が目づまりしている。 温風吹出し口に障害物がある。	エアーフィルター(大、小)の掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく(5～6分)してから再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)
過熱防止装置 (温度ヒューズ)	万一異常過熱したときに、温度ヒューズが切れて消火します。			異常過熱状態になった。	修理が必要です。お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップもしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
逆火時安全装置	使用中にバーナーの炎が逆火した場合に温度ヒューズが切れて消火します。			バーナーに異常が起きた。	
電流ヒューズ	ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、運転を停止します。	消灯 燃焼	消灯 低 16 18 20 22 24 26 高	電気回路がショートした。	
停電安全装置	停電したとき安全装置が作動し、運転を停止します。停電後再通電されても自動的に再点火しません。	(停電)消灯 燃焼 (約1分以内の再通電)点滅 燃焼	(停電)消灯 低 16 18 20 22 24 26 高 (約1分以内の再通電)点滅 低 16 18 20 22 24 26 高	停電した。	停電中は、ガス栓を閉じておいてください。 13ページの 停電時の処置 をお読みください。
		約1分以上の停電の場合、再通電時は消灯したままです。			

日常の点検・手入れ

●点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検・お手入れは運転スイッチを「切」にし、お部屋のガス栓を閉め、器具が冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 点検で異常を見つけられたら、19ページの 故障かな？と思ったら を参照してください。
- 器具内部（安全装置、電気部品およびガスの通路部分）は絶対に分解しないでください。

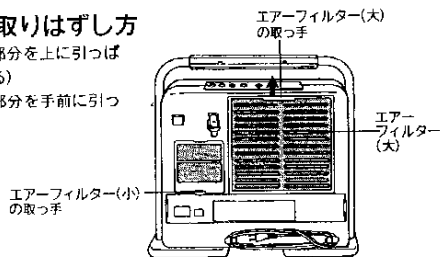
●点検

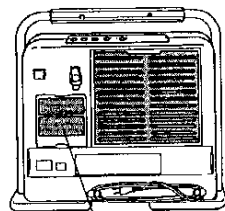
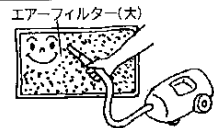
- ガスコードは、お部屋のガス栓に、きちんと差し込んでありますか。
- 器具のまわりや温風吹出し口の付近に燃えやすいものはありませんか。
- 電源コードがいたんでいませんか。
- 器具の下や、エアーフィルター（大・小）・温風吹出し口などに、ほこりなどがたまっていませんか。

●お手入れ

■エアーフィルター（大・小）のお手入れ

- エアーフィルター（大・小）は1ヵ月に1回程度掃除してください。また、運転中にフィルターサインが点滅したときはすみやかに掃除してください。
- ほこりなどがたまると風量が減って暖房効果が悪くなるばかりか、室温ランプが正確に表示しないことがあります。

■エアーフィルター（大・小）の取りはずし方

- エアーフィルター（大）は上方の取っ手部分を上に引っぱるとはずれます。（矢印の方向に引っぱる）
- エアーフィルター（小）は下方の取っ手部分を手前に引っぱると簡単に外れます。

■エアーフィルター（大・小）のお手入れの方法

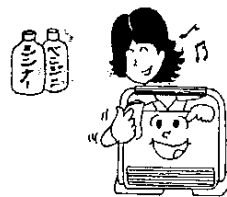
- エアーフィルター（大・小）のほこりを電気掃除機などでよく掃除してください。
- 汚れのひどいときは、洗剤で洗い、十分乾燥させてください。
- エアーフィルター（小）の内側に取り付けられている樹脂フィルターのお手入れは、かるくはたく程度とし水洗いはさけてください。
- 油汚れなど樹脂フィルターの汚れがひどい場合、目づまりした場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に、樹脂フィルターの取替え（有料）をお申し付けください。

■エアーフィルター（大・小）の取り付け方

- エアーフィルター（大）は、「きちん」とさし込んでください。
- エアーフィルター（小）は、樹脂フィルターを必ずもとの位置にもどしてから、取り付けてください。エアーフィルター（小）は上方のツメをさし込み、取っ手部分を押し込むと取り付きます。

■温風吹出し口のお手入れ

- 1ヵ月に1回以上は、温風吹出し口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。
  この場合、必ず対流用ファンが止まってから行ってください。
- 温風吹出し口に白い粉が付着することがありますが、異常ではありません。
  やわらかい布でふき取ってください。
- 温風吹出し口を強くふきますと、吹出し口のルーバが曲がり、温風によって床（カーペット等）が変色することがありますのでご注意ください。

●器具外装のお手入れ

- 本体ケースや、温風吹出し口などが、ほこりなどで汚れたときは布などでふき取ってください。
- 化学ぞうきんやベンジンやシンナーなどでふかないでください。
  塗装がハゲたり、色があせたり樹脂の部品が変形したりします。

故障かな？と思ったら

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因 ＼ 現象	室温ランプが点灯しない	スパーク音がしない	点火しにくい 点火しない（燃焼ランプが点灯しない）	ガスのにおいがする	使用中に消火する	異常な音をたてる（消えてしまう）	部屋の暖まりが悪い	処置方法	参照ページ
電源プラグを差し込んでない	●	●	●					電源プラグを確実に差し込む	8
ガス栓の開き忘れ・開き不十分			●	●	●		●	ガス栓を全開にする	8・9
ガスコード内に空気が残っている			●	●				運転操作をくり返してください	9
ガスコードの接続が不完全			●	●	●			確実に接続する	8
ガスの種類が違う			●	●	●	●	●	本体裏面の銘板を確認してください。	3
ガスコードが長すぎる ガスコードの折れ曲がり・つぶれ			●	●	●	●	●	不具合を除き再点火してください	8
ガスコードのひび割れ・穴あき				●	●			ガスコードを交換する	8
換気が不十分である					●			30分に1回1分程度換気をする	5
温度調節が「低」になっている							●	温度調節を「高」側にする	10
エアーフィルター（大・小）がつまっている 温風吹出し口に障害物がある			●	●	●	●	●	日常の点検・手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください	17・18
点火（燃焼を開始）したばかりである				●				点火時、少しにおうことがあります。	–
スパーク装置の故障（コード外れなど）		●	●					点検修理を依頼する	–
安全装置が作動した	●	●	●		●	●	●	点検修理を依頼する	15・16

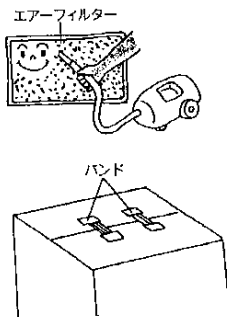
● 処置方法や原因のわからないときは、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

●次のような場合は故障ではありません

現象	説明
はじめて使うときに、器具から煙やにおいが出る。	はじめてお使いになるとき、器具に付着した油がこげて、煙やにおいが出る場合があります。しばらくすると自然になくなります。
着火したときに「ボッ」という音がする。	着火音で、異常ではありません。
点火・消火直後に「チリ、チリ」と音がする。	バーナーが熱により、膨張・収縮するときの音ですから故障ではありません。
使用中に「シャー」と音がする。	これはガスの通過音で、異常ではありません。
運転スイッチを「切」にしても、しばらく温風吹出し口より風が出ている。	器具内の異常過熱を防止するために燃焼停止後、対流用ファンをしばらく運転しています。これは器具内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。
温度調節スイッチ・おやすみスイッチなどを押しても作動しない。 （チャイルドロックランプ点灯）	チャイルドロックがかかっているためです。（P12参照）

長期間使用しない場合

おしまいになるときは、次の要領で手入れをしてください。

- 電源プラグをコンセントより抜いてください。
- お部屋のガス栓を閉め、ガスコードをお部屋のガス栓よりはずし、お部屋のガス接続口にキャップをかぶせてください。
- 特にガス通路部分に、ほこりが入って通路を詰まらせないように器具のガス接続口や、ガスコードの接続口には、必ずキャップをしてください。
- 温風吹出し口と、エアーフィルター(大・小)のほこりを取り除いてください。
- お買い上げになったときの箱の中に正しく入れ、湿気の少ないところへ保管してください。保管場所は高温になる所や直射日光があたる所はさけてください。
  (しまい方は、箱の上面の折り返し部に表示してあります。)
- なお、こん包の際は付属のバンドを右記の要領で使用してください。

アフターサービスのお申し込み

●サービスのお申し込み

- 19ページの 故障かな?と思ったら の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1)品　　名……… [ファンヒーター]
(2)品　　番……… 裏面左下部に貼付してあります。
(3)現　　象……… [できるだけ詳しく]
(4)お 名 前
(5)ご 住 所
(6)電話番号
(7)道　　順……… [できるだけ詳しく]

(例)

(N)43-640(U)
大阪ガス株式会社01

●点検整備のおすすめ

- 安全快適に、ご使用頂くために定期的に(3シーズンに1回程度)点検整備を受けられることをおすすめします。
- 点検整備は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社にお申し付けください。
  点検整備の内容は、機能部品の点検・確認及び清掃整備です。この場合は有料となります。

●転居される場合

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区別があります。
  ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社にご相談ください。
  この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●保証書について

- この器具には保証書がついています。
  このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

寸法図と仕様一覧表

〈寸法図〉

[単位:mm]

仕様一覧表

機種 / 項目	43-640・641・642・643型	
	GS-2SP1G	
	都市ガス 13A	LP ガス
ガス消費量 (kcal/h)	2100	0.175kg/h
暖房のめやす	木造6畳・コンクリート9畳	
外形寸法 (mm)(高さ×幅×奥行)	370(438)×435(465)×115(脚部161)	
重量 (kg)	7.6	
電気消費量 (W)(50/60Hz)	25/26 (運転スイッチ「切」のとき:約3.5W)	
接続 ガス	小口径迅速継手(ガスコード)	
接続 電源	交流100V・50/60Hz(電源コード長さ2m)	
燃焼方式	ブンゼン燃焼式	
給排気方式	開放式	
放熱方式	強制対流式	
点火方式	交流電源連続放電点火式	
安全装置	○不完全燃焼防止装置 ○立消え安全装置 ○転倒時安全装置 ○過熱防止装置(バイメタルスイッチ) ○過熱防止装置(温度ヒューズ) ○逆火時安全装置 ○電流ヒューズ ○停電安全装置 ○ファンコントローラ	

メモ欄